



Conseil Mondial de la Famille Marianiste

Via Latina 22, 00179 Roma, Italia – www.marianist.org
Tel (+39) 06 70 47 58 92 – FAX (+39) 06 7000 406

World Council of the Marianist Family
Consejo Mundial de la Familia Marianista

2022-2025 年の目標

はじめに

「お言葉どおり、この身になりますように。」

マリアは、主の呼びかけを受け入れ、世界の最も根源的な必要に応え、彼女の自己全体を主が自由に使えるようにしました。私たちの時代は、マリアニスト家族として、私たちに同様の応えを呼びかけています。私たちの世界の多くの課題は、それらが社会的なもの、環境保護に関するもの、信仰に関連するものであれ、あるいはパンデミックによってもたらされた新しい現実を考慮することであれ、私たちが応えることができる多くの機会を、さらには新しい機会さえ提示しています。

マリアニスト家族世界評議会は、今の時代とこの時代に対する私たちの応えについて振り返りました。共に生きること（シノダリティ）への新たな呼びかけを念頭に置いて、私たちは次の4年間の家族としての私たちの働きを導く一連の目標を策定しました。

A. 命を豊かに与えるマリアニスト家族に向けて

今日の課題、また家族としての私たちの役割についての理解は、私たちのカリスマ的な使命に適切に応えるために私たちの組織と手段の進歩的な適応を要請します。この目標に向かって、世界評議会は次のことを行います。

1. 本評議会は、必要に応じて調整し適応するための開放性をもって、どのように機能し得るかを熟考する。これには、家族に新しい生命を吹き込むために、世界評議会自体にとっての新しい構造を検討し、採用することが含まれる可能性がある。
2. 家族への相互支援とより良い奉仕のために、(各国の) 全国家族評議会と対話する機会を求める。

対話の分野のいくつかは次の通りです。

- 家族評議会の役割
- 家族評議会の構造と組織
- その地理的地域全体に影響を与え、その使命を達成する家族評議会の能力
- 私たちのカリスマ的な家族には属さないが、私たちのカリスマに触発される他の人々との家族評議会の協力

B. 同じ宣教の精神で方向づけられて

私たちは、それぞれの行動方針をもって、二つの優先的な働きの領域を検討します。

1. 若い人たち：

- a) 召命司牧活動とともに青少年司牧活動を促進するよう、国と地方の評議会に勧める。
 - 沈黙と祈りのための場を提供すること。
 - 中等学校の段階を超えた宣教活動を発展させること。
- b) 全国および/または地方レベルで他の青少年・召命司牧メンバーと協力してチームをすることにより、若者たちと共に司牧的ケアの発展を支援すること。この背景の中で、すべてのマリアニストの召命を促進すること。
- c) 全国および地方レベルで、対話のための場を設けるよう勧めること；つまり、若い人々、特に10代後半の若者に対する宣教活動に関する経験と資料を分かち合うこと。

2. 正義、平和、および環境保護：

- a) 家族のすべての会員と構成員が“ラウダート・シ”の精神に従って生活し、そのプラットフォームに登録するように要請し、勧めること。[1]
- b) 私たちのカリスマと“ラウダート・シ”との関連性について考えること。
- c) 最も弱く不利な立場にある人々に特別な注意を払いながら、あらゆるレベルの人々との関係に関心を持つこと；すなわち、“ラウダート・シ”と“兄弟の皆さん”の精神に従い、私たちがマリアの態度に触発されるようにすること。

C. 共通の養成を進展させるために、協力する機会を強化する

この目標を達成するために、私たちは以下の点を提案します。

1. 理論的側面に限定されることなく、その人全体を変容の過程に参加させる養成プロセスを促進すること。
2. 各枝に必要な養成担当者の養成に協力すること。
3. 適切であるときはいつでも、既存の養成組織（大陸別のマリアニスト研究センター、養成所など）の発展にコミットすること。
4. 私たちのアイデンティティと使命を強化するために、重要なカリスマ的なテーマの研究を促進すること。

マリアニスト家族世界評議会承認
2021年11月13日(土)

[1] <https://laudatosiactionplatform.org/>